

大磯のよかまアトちへ

大磯町災害救援ボランティアの会

8月30日(日) 夏休みファミリー企画 ～楽しく学ぼう! わが家の防災～

当会の Facebook では、イベント当日の様子を動画でご覧いただけます。
<https://fb.watch/v/1zLL0PfagQ/>



8月30日(日)、大磯町保健センターにて、体験型の防災イベントを実施しました。

被災した家屋の中を歩いてみる、火山から溶岩が流れる様子を模型で観察する、ダンボールベッドで寝てみる、新聞紙で簡易スリッパを作る、実際に使われている非常持ち出し袋の中身を手に取って確認するなど、体験や実演を通して防災について学べる15を超えるコーナーが用意され、会場はまさに防災テーマパークのようでした。(高島)

※写真に写っている方には掲載の許可をいただいています。



10月4日(日) 大磯防災 フェア



イベント中に緊急地震速報を流し、来場者にシェイクアウト訓練をしてもらう一幕も



10月4日(日)に大磯運動公園で行われた町主催の「防災フェア」は、天気にも恵まれ我々の会は朝7時から準備しました。

中でも笠間先生の火山噴火の実験は説明も分かり易く、大勢の子どもや大人が興味深く見ていました。(小野)



「ペット防災カレンダー2027」を先着50名様に配布予定です

イベントのご案内

防災カフェ / わんこのテラス+

ペットと同行避難訓練

公園にいた時、大地震が起きたらあなたはどのような行動をとりますか?

日時 12月12日(土) 14:00 ~ 16:00

場所 大磯城山公園 ふれあい広場

入場料(料) ※ 第1種避難者は無料です
申し込み不要 参加費あり
中絶あり(雨天中止)

「公園にいたとき大地震がきた!」

子どもも大人もペットの命を守るための訓練です。
ペットも人も避難、避難の順序は重要。
トレーニングを通して学びました。

会場

大磯町災害対策センター(大磯町役場内)

※ 大磯町災害対策センター(大磯町役場内)は、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり。

※ 大磯町災害対策センター(大磯町役場内)は、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり。

12月19日土曜日

9:30~11:00

もしも災害がおこった時
避難所での過ごし方
第二回目

今年も避難所の中、熊本地震がありました
避難に入ったからといって、置いてきたりありませんか?

講師ご紹介

主催 大磯町 大磯町役場 大磯町災害対策センター(大磯町役場内)

大磯町災害対策センター(大磯町役場内)は、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり。

大磯町災害対策センター(大磯町役場内)は、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり、大磯町役場内(大磯町役場内)にあり。

※問合せ先: 090-9376-4133 (小島)

※問合せ先: 090-3403-6443 (伊藤)

大磯の地形を歩く

箱根ジオパーク事務局専門員
笠間友博

②4 大磯丘陵の特徴

大磯丘陵の高麗山、鷹取山の違いについて紹介しましたが、大磯丘陵全体の「山容」とはどのようなものでしょうか？ 地形図を使って他の丘陵と比較し、その特徴をみてみましょう。国土地理院のHPの地理院地図にアクセスし「標高・地形の凹凸」から、色別標高図と傾斜面図を重ねて表示させます。使用している図は、色別標高図の透過率だけを43%にしてあります。見るポイントは輪郭、谷の方向、テクスチャー（地形の質感）です。

図1は高天神城で有名な小笠丘陵です。輪郭は多角形で、谷はピークから放射状に延びます。テクスチャーは西東で異なり、東側は侵食が進み低くなっています。これは昔の大井川による侵食です。南側の輪郭が直線的なのは波の侵食です。図2は久能山東照宮で有名な有度丘陵です。輪郭は半円形、北南でテクスチャーが異なり、南側が急傾斜です。これは波の侵食です。谷は急な南側にかつてあつたピークから放射状に出ているように見えます。図3はトトロの森で有名な狭山丘陵です。船のような輪郭や引き波のような地形は、西から東に流れていた昔の多摩川がつくった地形です。丘陵内部も東西方向の大きな谷があり、これも昔の多摩川がこの丘陵の上を西から東に流れていた時代の名残です。テクスチャーの違いはあまりありません。図4はわが大磯丘陵です。輪郭は四角形ですが、内部は図1〜3に比べるとデザインの統一感がないというか、谷の方向、テクスチャーは場所ごとに異なり、解釈に悩みます。これが大磯丘陵の特徴で、背景に奇木細工的な場所ごとに異なる成因があると思われる。

話は飛躍しますが、図4を見て私は天王星の衛星ミランダを連想します（図5）。構造は場所ごとに異なり奇妙で、解釈に悩みます。天体の大磯丘陵と言ったら大げさでしょうか。天体の写真は、NASAのHPのフォトジャーナルで閲覧できます。天体の地形も個性いっぱい面白いですよ。



図5 ミランダ(NASA/JPL/USGS) 1986年にボイジャー2号が撮影



図4 大磯丘陵（地理院地図より）



図3 埼玉県の狭山丘陵（地理院地図より）



図2 静岡県の有度丘陵（地理院地図より）



図1 静岡県の小笠丘陵（地理院地図より）

【防災講演会 ～富士山噴火と火山灰～】

小学生を対象に開催された社協ホリデースクールや町の防災フェアでの噴煙拡散実験、「楽しく学ぼう！ わが家の防災」イベントでの溶岩流出実験、そして9月12日に開催された防災講演会と、今年は笠間友博先生に、富士山噴火をテーマにたくさんお話いただきました。先生は神奈川大学で講師を務められるほどの専門家ですが、溶岩流を海辺の波の動きに例えるなど、小学生にもわかるように解説してください。大人が聞いても理解が深まり、とても勉強になります。大学の講義さながらの深い学びが得られる貴重な機会に、ぜひまた参加したいと思いました。大磯町民の皆さんにも、こうしたお話を聞く機会がもっと広がってほしいと感じています。（川崎）



大磯町災害救援ボランティアの会は、地域の安全・安心を第一優先として災害時への備えを考えている団体です。一緒に活動していただける会員を募集しています。また、防災に関する情報や質問などがありましたらぜひお知らせください。（伊藤）

✉ itou1321@forest.ocn.ne.jp

☎ 090-3403-6443



『大磯のなかまたちへ』第32号

編集・発行 大磯町災害救援ボランティアの会
255-0003 大磯町大磯 1352-1
大磯町災害救援ボランティアの会事務局

後援 大磯町社会福祉協議会

発行日 2026年11月1日

発行部数 2,000部

